工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事監督員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
1 施工体制	II 配置技術者	技術者が適切に配置されている	技術者ががほぼ適切に配置されている	他の評価に該当しない	技術者の配置がやや不備である	技術者の配置が不備である
	(現場代理人等)	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="width: 15%; text-align: center;"> <input style="width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto;" type="checkbox"/> </div> <div style="width: 85%;"> <p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ☐ 作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任及び配置している。 ☐ 現場代理人が工事全体を把握している。 ☐ 設計図書の照査が事前に行なわれ、工事監督員と協議するなどの必要な対応を行っている。 ☐ 工事監督員への報告を適時及び的確に行っている。 ☐ 書類整理、資料整理が適切に処理されている。 ☐ 契約書、設計図書、諸基準等をよく理解し、現場に反映し施工している。 ☐ 施工上の課題となる条件(作業環境、気象、地質等)への対応を図っている。 ☐ 下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。 ☐ 監理(主任)技術者が、明確な根拠に基づいて技術的な判断を行っている。 ☐ 施工に先立ち、創意工夫の提案をもって工事を進めている。 ☐ 現場状況を勘案し施工方法等について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。 ☐ その他理由: </div> </div>			☐ 配置技術者に関して、工事監督員からの文書による改善指示を行った。 <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <p style="text-align: center;">上記該当事項があれば・・・ d</p>	☐ 配置技術者に関して、工事監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <p style="text-align: center;">上記該当事項があれば・・・ e</p>
		<p>該当項目が 90%以上..... a</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... b</p> <p>該当項目が 80%未満..... c</p>	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 15px;"></div> / <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 15px;"></div> = <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 15px;"></div> % </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px; font-size: small;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>			

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事監督員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2 施工状況	II. 工程管理	工程管理が適切である	工程管理がほぼ適切である	他の評価に該当しない	工程管理がやや不備である	工程管理が不備である
	□	[評価対象項目] ☐ 工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した工程表を作成している。 ☐ 実工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程を管理している。 ☐ 現場条件の変化への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない。 ☐ 時間制限や施工日時の指定の各種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れが無い。 ☐ 工事の進捗を早めるための取り組みを行っている。 ☐ 適切な工程管理を行い、工程の遅れが無い。 ☐ 休日の確保を行っている。 ☐ 計画工程以外の時間外作業がほとんど無い。 ☐ 夜間や休日の作業が少なく、工期内に完成した。 ☐ その他理由:			☐ 工程管理に関して、工事監督員からの文書による改善指示を行った。 □ 上記該当事項があれば・・・d	☐ 工程管理に関して、工事監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 □ 上記該当事項があれば・・・e
		該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... b 該当項目が 80%未満..... c		$\frac{\square}{\square} = \square\%$ ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。		

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事監督員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2 施工状況	Ⅲ 安全対策	安全対策を適切に行った	安全対策をほぼ適切に行った	他の評価に該当しない	安全対策がやや不備であった	安全対策が不備であった
	□	<p>[評価対象項目]</p> ☐ 災害防止(工事安全協議会等を1回/月以上行っている。 ☐ 創意工夫のある安全教育・訓練等を(半日/月)以上適切に実施し、記録が整備されている。 ☐ 新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が十分反映され、記録が整備されている。 ☐ 工事期間中を通じて、労働災害及び公衆災害が発生しなかった。 ☐ 過積載防止に取り組んでいる。 ☐ 仮設工の点検及び管理を、チェックリスト等を用いて実施している。 ☐ 保安施設の設置及び管理を、各種基準及び関係者間の協議に基づき実施している。 ☐ 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。 ☐ 店社パトロールを1回/月以上実施し、記録が整備されている。 ☐ 各種安全パトロールで指摘を受けていない、または指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正報告している。 ☐ 安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録が整備されている。 ☐ 安全管理の臨機の措置を行った。 ☐ 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。 ☐ 交通事故防止について他の模範となる活動を行っている。 ☐ 使用機械、車両等の点検整備等がなされ、その記録が管理されている。 ☐ その他理由:			☐ 安全対策に関して、工事監督員からの文書による改善指示を行った。 □ 上記該当事項があれば・・・ d	☐ 安全対策に関して、工事監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 □ 上記該当事項があれば・・・ e
		該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... b 該当項目が 80%未満..... c		□ / □ = □ % ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。		

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事監督員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2 施工状況	IV 対外関係	対外関係が適切であった	対外関係がほぼ適切であった	他の評価に該当しない	対外関係がやや不備であった	対外関係が不備であった
	□	<p>[評価対象項目]</p> <p>☐ 関係官公庁や関係機関などと調整を行い、トラブルの発生が無い。</p> <p>☐ 近隣住民(施設管理者を含む)との調整を行い、トラブルの発生が無い。</p> <p>☐ 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。</p> <p>☐ 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。</p> <p>☐ 竣工時に施設管理者に対し、保守管理について適切な説明を行っている。</p> <p>☐ その他理由:</p>			<p>☐ 対外関係に関して、工事監督員からの文書による改善指示を行った。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <p>上記該当事項があれば・・・ d</p>	<p>☐ 対外関係に関して、工事監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <p>上記該当事項があれば・・・ e</p>
		<p>該当項目が 90%以上..... a</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... b</p> <p>該当項目が 80%未満..... c</p>		<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; display: inline-block;"></div> / <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; display: inline-block;"></div> = <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; display: inline-block;"></div> %	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ I 出来形	建築工事	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の評価に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
	□	<p>[評価対象項目]</p> <p>☐ 出来形管理図または出来形管理表が適切にまとめられており、確認できる。</p> <p>☐ 出来形測定において、不可視部分の出来形が写真で的確に確認できる。</p> <p>☐ 管理基準を設定して、適切に管理している。</p> <p>☐ 写真管理基準等を設置し、創意工夫を持って適切に管理している。</p> <p>☐ 出来形の形状、寸法が設計値(設計図書)を満足している。</p> <p>☐ 出来形の性能、機能が設計値(設計図書)を満足している。</p> <p>☐ その他理由:</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>	<p>☐ 工事監督員が文書で改善指示を行った。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div> <p>上記該当あれば・・・d</p>	<p>☐ 契約約款第31条、第32条第2項に基づき、破壊検査を行った。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div> <p>上記該当あれば・・・e</p>
		<p>該当項目が 90%以上..... a</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... b</p> <p>該当項目が 60%以上80%未満..... c</p> <p>該当項目が 60%未満..... d</p>	<p>□ / □ = □ %</p>	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc 評価とする。</p>		
	電気設備工事 機械設備工事	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の評価に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
	□	<p>[評価対象項目]</p> <p>☐ 機器が承諾図等と合致している。</p> <p>☐ 施工図等が、設計図書を踏まえ作成されている。</p> <p>☐ 施工計画書等で定めた出来形の管理基準に基づき、管理している。</p> <p>☐ 点検できないジョイントボックスやバルブ等が少ない。</p> <p>☐ 出来形の形状・寸法が設計図書及び施工図を満足している。</p> <p>☐ 出来形の管理が良好で機器等に变形や傷がない。</p> <p>☐ 関連工事との取り合わせが適切である。</p> <p>☐ 不可視部分の出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。</p> <p>☐ その他理由:</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>	<p>☐ 工事監督員が文書で改善指示を行った。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div> <p>上記該当あれば・・・d</p>	<p>☐ 契約約款第31条、第32条第2項に基づき、破壊検査を行った。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div> <p>上記該当あれば・・・e</p>
		<p>該当項目が 90%以上..... a</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... b</p> <p>該当項目が 60%以上80%未満..... c</p> <p>該当項目が 60%未満..... d</p>	<p>□ / □ = □ %</p>	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc 評価とする。</p>		

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	除却工事	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の評価に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
I 出来形	☐	<p>[評価対象項目]</p> ☐ 指定仮設の設置範囲及び仕様等が設計図書を満足し、適切な施工である。 ☐ 撤去対象物の範囲等が設計図書を満足し、適切な施工である。 ☐ 整地の範囲及び仕様等が設計図書を満足し、適切な施工である。 ☐ 分別解体等の方法等が、設計図書を満足し、適切な施工である。 ☐ 各施工段階ごとの工事の記録が、工事写真により確認できる。 ☐ 建設廃棄物が、全て適切に処分されていることが確認できる。 ☐ その他理由:			☐ 工事監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	☐ 契約約款第31条、第32条第2項に基づき、破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e
				$\frac{\text{□}}{\text{□}} = \text{□}\%$		
		該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... b 該当項目が 60%以上80%未満..... c 該当項目が 60%未満..... d		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。		

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事監督員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	機械設備工事(新築)	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の評価に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
II 品質	☐ 機材 ☐ 施工	[評価対象項目] ☐ 機材の品質が、証明書等により確認できる。 ☐ 設計図書の仕様を踏まえた上で詳細の検討を行い、施工図や承諾図に反映している。 ☐ 品質確認記録の内容が、適切である。 ☐ 施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が、適切である。 ☐ 試運転により適切な性能及び機能であることが確認できる。 ☐ 施工の品質が、良好である。 ☐ 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 ☐ バルブや操作盤などの操作部分や、フィルター、掃除口などの点検部分が承諾図書や施工図で検討され、操作性、機能性にすぐれている。 ☐ その他理由：			☐ 工事監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当事項があれば・・・d	☐ 契約約款第31条、第32条第2項に基づき、破壊検査を行った。 上記該当事項があれば・・・e
		該当項目が90%以上..... a 該当項目が80%以上90%未満..... b 該当項目が60%以上80%未満..... c 該当項目が60%未満..... d		$\frac{\quad}{\quad} = \quad \%$		
						① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合にはc 評価とする。

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事監督員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	機械設備工事(改修)	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の評価に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
II 品質	□	<p>[評価対象項目]</p> ☐ 機材の品質が、証明書等により確認できる。 ☐ 設計図書の仕様を踏まえた上で詳細の検討を行い、施工図や承諾図に反映している。 ☐ 品質確認記録の内容が、適切である。 ☐ 施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が、適切である。 ☐ システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。試運転により適切な性能及び機能であることが確認できる。 ☐ 機材及び施工の品質が、良好である。 ☐ 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 ☐ バルブや操作盤などの操作部分や、フィルター、掃除口などの点検部分が承諾図書や施工図で検討され、操作性、機能性に優れている。 ☐ 既設設備の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施している。		<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>	☐ 工事監督員が文書で改善指示を行った。 <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div> <p style="text-align: center;">上記該当事項があれば・・・d</p>	☐ 契約約款第31条、第32条第2項に基づき、破壊検査を行った。 <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div> <p style="text-align: center;">上記該当事項があれば・・・e</p>
	機材					
	施工					
		該当項目が90%以上..... a 該当項目が80%以上90%未満..... b 該当項目が60%以上80%未満..... c 該当項目が60%未満..... d		<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 40px; height: 20px;"></div> / <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 40px; height: 20px;"></div> = <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 40px; height: 20px;"></div> %		
				① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc 評価とする。		

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	除却工事 ☐	品質管理が適切である [評価対象項目] ☐ 除却建築物の事前調査を行い施工品質の確保に努めている。 ☐ 施工計画書に定められた内容について記録が整備されている。 ☐ 特定建築資材にかかる分別・再資源化の取組みが顕著である。 ☐ 近隣に対する除却工事の影響(騒音・振動・粉塵)の低減に努めている。 ☐ 独自の解体機材を使用して除却工事を実施するなど、施工ノウハウが優れている。 ☐ 除却工事の手順が、安全上の無理がなく合理的である。 ☐ 付帯工事(フェンス、コンクリート舗装、設備工事等)の品質確保が確認できる。 ☐ その他理由: 該当項目が90%以上..... a 該当項目が80%以上90%未満..... b 該当項目が60%以上80%未満..... c 該当項目が60%未満..... d	品質管理がほぼ適切である	他の評価に該当しない [] [] [] [] [] [] [] [] [] / [] = [] % ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。	品質管理がやや不備である ☐ 工事監督員が文書で改善指示を行った。 [] 上記該当あれば・・・d	品質管理が不備である ☐ 契約約款第31条、第32条第2項に基づき、破壊検査を行った。 [] 上記該当あれば・・・e
	工種 上記以外の工事又は合併工事 ☐	品質管理が適切である [評価対象項目] ☐ その他理由: ☐ その他理由: ☐ その他理由: ☐ その他理由: ☐ その他理由: 該当項目が90%以上..... a 該当項目が80%以上90%未満..... b 該当項目が60%以上80%未満..... c 該当項目が60%未満..... d	品質管理がほぼ適切である	他の評価に該当しない [] [] [] [] [] [] [] / [] = [] % ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。	品質管理がやや不備である ☐ 工事監督員が文書で改善指示を行った。 [] 上記該当あれば・・・d	品質管理が不備である ☐ 契約約款第31条、第32条第2項に基づき、破壊検査を行った。 [] 上記該当あれば・・・e

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事監督員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細 別	技術力キーワード一覧表	備 考
5 創意工夫 【軽微なもの】	キーワード評価	■準備・後片付け関係 ☐ 1. 測量・位置出しにおける工夫 ☐ 2. 現地調査方法の工夫 ☐ 3. その他	
		■施工関係 ☐ 4. 施工に伴う器具、工具、装置類の工夫 ☐ 5. 工場加工製品等を活用し副産物及び廃棄物の減少に工夫及びリサイクルに対する積極的な取り組み ☐ 6. 土工事、地業工事、鉄骨建て方、コンクリート工事等の施工関係の工夫 ☐ 7. 部材・機材等の運搬・搬入等を含む施工方法の工夫 ☐ 8. 電気工事等の配線、配管等での工夫 ☐ 9. 空調・衛生設備工事等の配管・ダクト等のつなぎや凍結防止策の工夫 ☐ 10. 照明・視界確保等の工夫 ☐ 11. 仮排水、仮道路、迂回路等の計画施工の工夫 ☐ 12. 運搬車両・施工機械等の工夫 ☐ 13. 支保工、型枠工、足場工及び仮棧橋、覆工版、山留め等の仮設工関係の工夫 ☐ 14. 施工管理及び品質向上等の工夫 ☐ 15. プレハブ工法等を採用し、工期短縮等の工夫 ☐ 16. 改修工事における仮設施工の工夫 ☐ 17. 既存施設・近隣等に対する騒音・振動対策等の工夫 ☐ 18. 保全への配慮による材料選定・施工方法等の工夫 ☐ 19. 作業の安全向上のための施工方法等の工夫 ☐ 20. その他：	
		■品質関係 ☐ 21. 集計ソフト等の活用と工夫 ☐ 22. 躯体工事の品質管理の工夫 ☐ 23. 材料の検査試験に関する工夫 ☐ 24. 施工の検査試験に関する工夫 ☐ 25. 品質記録方法の工夫 ☐ 26. その他：	

※1. 「2. 施工状況」「3. 出来形及び出来ばえ」においても創意工夫は加点対象とされるが、企業努力を引き立たせるため、本考査項目でも再評価する。

※2. 創意工夫は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが、非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では軽微なものを評価する。

※3. キーワードの評価(選定)及び詳細評価は、工事主管課長との合議をもって記述する。

※4. 設計変更の対象としない工法や施工段取り等で軽微な行為を記述。

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。評価した内容を【創意工夫の詳細評価】欄へ記述する。

(工事監督員)

考査項目	細 別	技術力キーワード一覧表	備 考
5 創意工夫 【軽微なもの】	キーワード評価	■安全衛生関係 ☐ 27. 安全仮設設備等の工夫(落下物、墜落、転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等) ☐ 28. 安全教育、技術向上講習会等、教育・ミーティング、安全パトロール等に関する工夫 ☐ 29. 現場事務所、労働者休憩所等の居住空間及び設備等工夫 ☐ 30. 酸欠対策・有毒ガス・可燃ガスの処理及び粉塵防止策や作業中の換気等の工夫 ☐ 31. 周辺道路等の事故防止及び一般交通確保等のための工夫 ☐ 32. 改修工事における既存施設利用者等に対する安全対策の工夫 ☐ 33. 作業時における作業環境低減等の工夫 ☐ 34. ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫 ☐ 35. その他：	
		■施工管理関係 ☐ 36. 出来形管理等に関する工夫 ☐ 37. 施工計画書及び写真記録等に関する工夫 ☐ 38. 出来形、品質との計測関係等の工夫及び集計、管理図等の工夫 ☐ 39. CAD、施工管理ソフト、土量管理システム等の活用 ☐ 40. その他：	
		■その他 ☐ 41. その他：	
記述評価 【レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述】	評点： _____ 点 ※ ・特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。 ・加点は+7点～0点の範囲とする。 ・該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。 1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上または以下の点数を与えても良い。	【創意工夫の詳細評価】	

- ※1. 「2. 施工状況」「3. 出来形及び出来ばえ」においても創意工夫は加点対象とされるが、企業努力を引き立たせるため、本考査項目でも再評価する。
- ※2. 創意工夫は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが、非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では軽微なものを評価する。
- ※3. キーワードの評価(選定)及び詳細評価は、工事主管課長との合議をもって記述する。
- ※4. 設計変更の対象としない工法や施工段取り等で軽微な行為を記述。

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事主管課長)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2 施工状況	II 工程管理	工程管理が優れている	工程管理がやや優れている	他の評価に該当しない	工程管理がやや不備である	工程管理が不備である
	□	☐ 現場又は施工条件の変更等による工期的な制約がある中で余裕をもって工期内に工事を完成させた。 ☐ 隣接又は同一現場の他の工事等との積極的な工程調整を行いトラブルを回避した。 ☐ 近隣住民(施設管理者等を含む)調整を積極的に行い、トラブルも少なく、工期内に工事を完成させた。 ☐ 配置技術者(現場代理人)の積極的な工程管理の姿勢が見られた。 ☐ その他理由: <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div>				
※上記該当項目を総合的に判断して、a, b, c, d, e評価を行う。						
	細別	a	b	c	d	e
	III 安全対策	安全対策が優れている	安全対策がやや優れている	他の評価に該当しない	安全対策がやや不備である	安全対策が不備である
	□	☐ 建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕著である。 ☐ 安全衛生管理体制を確立し、組織的に取り組んでいる。 ☐ 安全衛生管理活動が、適切に実施されている。 ☐ 安全管理に対する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。 ☐ 安全協議会活動に積極的に取り組むなど、リーダーシップを発揮している。 ☐ 作業場の照明や作業員の休憩所など作業環境の確保に取り組んでいる。 ☐ その他理由: <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div>				
※上記該当項目を総合的に判断して、a, b, c, d, e評価を行う。						

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事主管課長)

【記入方法】 該当する項目の□にレマーク、・に○を記入する。評価した内容を【工事特性の詳細評価】欄へ記述する。

考査項目	細 別	技術力キーワード一覧表	【事例】具体的な評価技術力項目及び工事事例
4 工事特性	1. 施工条件への対応	■ 施工規模への対応 ☐ 1. 延べ面積5,000㎡以上の建物 ☐ 2. 地上5階以上又は高さ21m以上の建物 ☐ 3. 地階を有する建物 ☐ 4. 大空間のホール等を有する建物 ☐ 5. その他(理由:) ※ 1つ以上のレ点で2点の加点	
		■ 構造物固有の難しさへの対応 ☐ 6. 対象構造物の耐震レベル ☐ 7. 建物機能の特殊性 ☐ 8. 芸術性の高い建物 ☐ 9. その他(理由:) ※ 1つ以上のレ点で2点の加点	【事例: 構造物固有な施工難度と対応工法等】 ・ 建築工事で官庁施設の総合耐震計画基準においてI類及びA類に属する工事 ・ 電気設備工事又は機械設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事 ・ 研究施設、美術館、特殊機能・設備の有る建物
		■ 建物固有の施工技術の難しさへの対応 ☐ 10. 建築材料、設備機材、工法について提案がある場合 ☐ 11. 工法、材料及び設備システム(機材を含む)の特殊性 ☐ 12. その他(理由:) ※ 1つ以上のレ点で2点の加点	【事例: 技術固有な施工難度と対応工法等】 ・ 施工場所や構造物の特殊性に対処するための新技術、新工法を採用した工事 ・ パイロット工事。又は、特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事 ・ その他、特殊な工法及び材料等を用いた工事 ・ 特殊な設備システムを採用した工事
		■ 厳しい自然・地盤条件への対応 ☐ 13. 湧水の発生、地下水の影響(地盤掘削時) ☐ 14. 傾斜地の状況 ☐ 15. 軟弱地盤、支持地盤の状況 ☐ 16. 雨・雪・風・気温等の影響 ☐ 17. その他(理由:) ※ 1つ以上のレ点で2点の加点	【事例: 自然及び地盤条件への対応工法等】 ・ 地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備の他、大規模な山留め工法が必要な工事 ・ 液状化対策工法や地盤改良を伴う工事 ・ その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事
		■ 厳しい周辺環境等、社会条件との対応 ☐ 18. 地中埋設物等の地中内の作業障害物 ☐ 19. 工事の影響に配慮すべき建築物等の近接物 ☐ 20. 周辺住民に対する騒音・振動の配慮 ☐ 21. 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 ☐ 22. その他(理由:) ※ 1つ以上のレ点で2点の加点	【事例: 周辺環境等、社会条件等への対応が必要になった工事等】 ・ 工事に支障をきたす地中埋設物、酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事 ・ 工事場所周辺に近接工事があり困難な調整を要する工事 ・ 場内に汚水処理装置(水替え)を必要とする工事 ・ 住居専用地域等で、騒音などの時間規制が条例で定められている工事 ・ 有線電気通信法による届出が必要なテレビ電波障害対策工事で困難な調整を行った工事
		■ 施工現場での対応 【長期工事における安全確保への対応】 ☐ 23. 12ヶ月を超える工期で事故が無く完成した工事(ただし全面一時中止期間は除く) 【災害等での臨機の措置】 ☐ 24. 地震、台風などにおいて、適切に臨機の対応を行った工事 【施工状況(条件)に対応した施工・工法等】 ☐ 25. 工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事 ☐ 26. 工程上他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事 ☐ 27. 休日・夜間作業が工程の過半を超える工事 ☐ 28. 施設を使用しながらの工事で、工程的な制約が特に厳しい工事 ☐ 29. 特に困難な調整を要する他工事の受注者が複数ある工事 ☐ 30. 外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある工事 ☐ 31. 特殊な室などで、工種が輻輳し困難な調整を要する工事 ☐ 32. 施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事 ☐ 33. 同一敷地内における施設を使用しながらの建て替え工事で、工程の制約等が特に厳しい工事 ☐ 34. その他(理由:) ※ 1つ以上のレ点で4点の加点とし、最大10点	
		記述評価 【レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述】	評点: _____ 点 ※1 工事特性は、最大20点の加点評価とする。 ※2 評価にあたっては、主任監督員等の意見も参考に評価する。 ※3 項目に複数の内容がある場合又は、対象範囲が広い場合は、それ以上の点数を与えても良い。

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。加は加点項目を示す。

(工事主管課長)

考査項目	細別	a1	a2	b1	b2	c
6 社会性等	I 地域への貢献等 ☐	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない
<p>☐ 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。</p> <p>☐ 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。</p> <p>☐ 定期的に応報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。</p> <p>☐ 道路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。</p> <p>☐ 地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。</p> <p>☐ 災害時などにおいて、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。</p> <p>☐ その他理由:</p>						
<p>※上記該当項目を総合的に判断して、a1, a2, b1, b2, c評価を行う。</p>						

※地域への貢献とは、工事の施工にともなって、地域社会や住民に対する配慮などの貢献について、加点評価する。

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、必要に応じて点数を記入する。

(工事主管課長)

考査項目	法令遵守等の該当項目一覧表	
8 法令遵守等	措 置 内 容	点 数
	☐ 1. 指名停止3ヶ月以上	-20点
	☐ 2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点
	☐ 3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点
	☐ 4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点
	☐ 5. 三木町建設工事指名停止等措置要綱における文書注意	- 8点
	☐ 6. 三木町建設工事指名停止等措置要綱における口頭注意	- 5点
	☐ 7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、三木町建設工事指名停止等措置要綱における口頭注意以上の処分が行われなかった場合	- 3点
☐ 8.	- 点	

☐	項目該当なし
--------------------------	--------

左記表の1～7の該当項目と8の和

-	点
---	---

① 本評価項目(8. 法令遵守等)で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった」場合に適用する。
 ② 「工事の施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。
 ③ 「工事関係者」とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び②を履行するために下請契約し、その履行をするために従事するものに限定する。

【上記で評価する場合の適応事例】

- ・ 1. 入札前に提出した調査資料等が虚偽であった事実が判明した。
- ・ 2. 承諾なしに権利義務等第三者譲渡又は承継を行った。
- ・ 3. 宿舍環境等の使用人等に関する労働条件に問題があり、送検等された。
- ・ 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。
- ・ 5. 当該工事関係者が贈収賄等により逮捕または公訴された。
- ・ 6. 建設業法に違反する事実が判明した。Ex)一括下請(上請)、技術者の専任違反等
- ・ 7. 入国管理法に違反する外国人の不法労働者が判明し、送検等された。
- ・ 8. 使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。
- ・ 9. 監督または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した。
- ・ 10. 下請代金遅延防止法第4条に規定する下請代金の支払いを期日に行っていない。あるいは不当に下請代金の額を減じている。あるいはそれに類する行為がある。
- ・ 11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。
- ・ 12. 建設企業の社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等、暴力団関係者がいることが判明した。
- ・ 13. 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策法第9条に記載されている、砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。
- ・ 14. 安全管理の処分が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。
- ・ 15. 施工体制台帳、施工体系図が不備で、監督職員から文書等による改善指示を行ったが、これに従わなかった。
- ・ 16. その他 (理由: _____)

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2 施工状況	I 施工管理	施工管理が優れている	施工管理がやや優れている	他の評価に該当しない	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である
	□	<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ☐ 契約約款第18条第1項第1号から5号に基づく設計図書の照査を行い、施工がなされている。 ☐ 施工計画書と現場の施工方法が一致している。 ☐ 工事器材等の資料の整理及び確認がなされ、管理されている。 ☐ 品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫が見られる。 ☐ 見本又は工事記録写真等の整理に工夫が見られる。 ☐ 段階確認等が適時、的確になされている。 ☐ 工事記録の整備が適時、的確になされている。 ☐ 建設廃棄物、リサイクルへの取り組みが適切になされている。 ☐ 雇用者等の雇用形態に応じて、中小企業退職金共済、建設業退職金共済等の制度に加入し、適正に処理されている。 ☐ 作業分担と責任の範囲が書面で確認できる。 ☐ 施工体制台帳、施工体系図が整備されている。 ☐ 施工計画書と現場の施工体制が一致している。 ☐ 品質管理体制が確立され、有効に機能している。 ☐ 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに設計図書の内容及び現場条件を反映したもとなっている。 ☐ 工事の関係書類及び資料整理がよい。 ☐ 管理基準等が作成され管理している。 ☐ その他理由: 			<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div> <p>設計図書と適合しない箇所があり、文書により修補指示を行った。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <p>契約図書に基づく施工上の義務につき、工事検査員から文書により指示を行った。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <p>1項目でも該当あれば・・・ d 2項目以上該当・・・ e</p>	
		<p>該当項目が 90%以上…………… a</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満…………… b</p> <p>該当項目が 60%以上80%未満…………… c</p> <p>該当項目が 60%未満…………… d</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; display: inline-block;"></div> / <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; display: inline-block;"></div> = <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; display: inline-block;"></div> %		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	建築工事	出来形が特に優れている	出来形が優れている	出来形が特に良好である	出来形が良好である	出来形が適切である	出来形がやや不適切である	出来形が不適切である
I 出来形	☐	<p>[評価対象項目]</p> <p>☐ 施工図、承認図等が設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 不可視部分となる出来形が工事写真、施工記録等により確認できる。</p> <p>☐ 施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる。</p> <p>☐ 出来形の管理記録の整備が良好である。</p> <p>☐ 出来形の管理方法に創意工夫がある。</p> <p>☐ 出来形の形状、寸法が設計図(設計図書)を満足している。</p> <p>☐ 出来形の性能、機能が設計図(設計図書)を満足している。</p> <p>☐ その他理由:</p>				<p>☐ 工事監督員が文書で改善指示を行った。</p> <p>☐ 契約約款第31条、第32条第2項に基づき破壊検査を行った</p>		
							<p>上記該当あれば・・・ d</p>	<p>上記該当あれば・・・ e</p>
						<p><input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %</p>		
		<p>該当項目が 90%以上…………… a1</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満…………… a2</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満…………… b1</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満…………… b2</p> <p>該当項目が 60%未満…………… c</p>	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合にはc評価とする。</p>					

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	電気設備工事 (新築)	出来形が特に優れている	出来形が優れている	出来形が特に良好である	出来形が良好である	出来形が適切である	出来形がやや不適切である	出来形が不適切である
I 出来形	☐	<p>[評価対象項目]</p> <p>☐ 承認図等が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 施工図等が、設計図書を踏まえ検討され、満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる。</p> <p>☐ 現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。</p> <p>☐ 現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。</p> <p>☐ 不可視部分の出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。</p> <p>☐ 提出書類が適切にまとめられており、不足がない。</p> <p>☐ 竣工図が適切にまとめられており、確認できる。</p> <p>☐ 関連工事とのすり合わせが適切である。</p> <p>☐ その他理由:</p>				<p>☐ 工事監督員が文書で改善指示を行った。</p> <p>☐ 契約約款第31条、第32条第2項に基づき破壊検査を行った。</p>		
							<p>上記該当あれば・・・ d</p>	<p>上記該当あれば・・・ e</p>
							<p>□ / □ = □ %</p>	
		<p>該当項目が 90%以上..... a1</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... a2</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満..... b1</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満..... b2</p> <p>該当項目が 60%未満..... c</p>	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>					

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	電気設備工事(改修)	出来形が特に優れている	出来形が優れている	出来形が特に良好である	出来形が良好である	出来形が適切である	出来形がやや不適切である	出来形が不適切である
I 出来形	☐	<p>[評価対象項目]</p> <p>☐ 承認図等が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 施工図等が、設計図書を踏まえ検討され、満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる。</p> <p>☐ 現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。</p> <p>☐ 現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。</p> <p>☐ 不可視部分の出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。</p> <p>☐ 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、適切に処分をしていることが確認できる。</p> <p>☐ 提出書類が適切にまとめられており、不足がない。</p> <p>☐ 竣工図が適切にまとめられており、確認できる。</p> <p>☐ 関連工事とのすり合わせが適切である。</p> <p>☐ その他理由:</p>				<p>☐ 工事監督員が文書で改善指示を行った。</p> <p>☐ 契約約款第31条、第32条第2項に基づき破壊検査を行った。</p>		
							<p>上記該当あれば・・・ d</p>	<p>上記該当あれば・・・ e</p>
							<p><input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %</p>	
		<p>該当項目が 90%以上..... a1</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... a2</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満..... b1</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満..... b2</p> <p>該当項目が 60%未満..... c</p>	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>					

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	機械設備工事(改修)	出来形が特に優れている	出来形が優れている	出来形が特に良好である	出来形が良好である	出来形が適切である	出来形がやや不適切である	出来形が不適切である
I 出来形	☐	<p>[評価対象項目]</p> <p>☐ 承認図等が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 施工図等が、設計図書を踏まえ検討され、満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる。</p> <p>☐ 現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。</p> <p>☐ 現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。</p> <p>☐ 不可視部分の出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。</p> <p>☐ 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、適切に処分していることが確認できる。</p> <p>☐ 提出書類が適切にまとめられており、不足がない。</p> <p>☐ 竣工図が適切にまとめられており、確認できる。</p> <p>☐ 関連工事とのすり合わせが適切である。</p> <p>☐ その他理由:</p>				<p>☐ 工事監督員が文書で改善指示を行った。</p> <p>☐ 契約約款第31条、第32条第2項に基づき破壊検査を行った。</p>		
							<p>上記該当あれば・・・ d</p>	<p>上記該当あれば・・・ e</p>
							<p><input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %</p>	
		<p>該当項目が 90%以上..... a1</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... a2</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満..... b1</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満..... b2</p> <p>該当項目が 60%未満..... c</p>	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>					

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	除却工事	出来形が特に優れている	出来形が優れている	出来形が特に良好である	出来形が良好である	出来形が適切である	出来形がやや不適切である	出来形が不適切である
I 出来形	☐	<p>[評価対象項目]</p> <p>☐ 指定仮設の設置範囲及び仕様等が設計図書を満足し、適切な施工である。</p> <p>☐ 撤去対象物の範囲等が設計図書を満足し、適切な施工である。</p> <p>☐ 整地の範囲及び仕様等が設計図書を満足し、適切な施工である。</p> <p>☐ 分別解体等の方法等が、設計図書を満足し、適切な施工である。</p> <p>☐ 各施工段階ごとの工事の記録が、工事写真により確認できる。</p> <p>☐ 建設廃棄物が、全て適切に処分されていることが確認できる。</p> <p>☐ その他の事項:</p>				<p>☐ 工事監督員が文書で改善指示を行った。</p> <p>☐ 契約約款第31条、第32条第2項に基づき破壊検査を行った。</p>		
		<p>_____ / _____ = _____ %</p>				<p>上記該当あれば・・・ d</p> <p>上記該当あれば・・・ e</p>		
		<p>該当項目が 90%以上..... a1</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... a2</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満..... b1</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満..... b2</p> <p>該当項目が 60%未満..... c</p>	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>					

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	建築工事(改修)	品質が特に優れている	品質が優れている	品質が特に良好である	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である
II 品質	共通	<p>[評価対象項目]</p> ☐ 品質管理方法が明確である。 ☐ 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。 ☐ 材料・製品の品質が施工図等により確認でき、設計図書の内容を満足している。 ☐ 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が適切である。 ☐ 品質の確認記録が適切にまとめられており、確認できる。 ☐ 施工の品質・形状が適切であり、設計図書の内容を満足している。 ☐ 不可視部分となる品質が工事写真、施工記録等により確認できる。 ☐ その他理由:				☐ 工事監督員が文書で改善指示を行った。 [] 上記該当あれば・・・ d	☐ 契約約款第31条、第32条第2項に基づき破壊検査を行った。 [] 上記該当あれば・・・ e	
		該当項目が 90%以上..... a1 該当項目が 80%以上90%未満..... a2 該当項目が 70%以上80%未満..... b1 該当項目が 60%以上70%未満..... b2 該当項目が 60%未満..... c		[] / [] = [] % ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合にはc評価とする。				

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	電気設備工事 (新築) 機械設備工事 (新築)	品質が特に優れている	品質が優れている	品質が特に良好である	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である
II 品質	機材 ☐ 施工	<p>[評価対象項目]</p> <p>☐ 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。</p> <p>☐ 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。</p> <p>☐ 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。</p> <p>☐ 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。</p> <p>☐ システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。</p> <p>☐ 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録等により確認できる。</p> <p>☐ 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。</p> <p>☐ 運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。</p> <p>☐ その他理由:</p>				<p>☐ 工事監督員が文書で改善指示を行った。</p> <p>☐ 契約約款第31条、第32条第2項に基づき破壊検査を行った。</p>		
							上記該当あれば・・・ d	上記該当あれば・・・ e
							<p>□ / □ = □ %</p>	
		<p>該当項目が 90%以上..... a1</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... a2</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満..... b1</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満..... b2</p> <p>該当項目が 60%未満..... c</p>	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合にはc評価とする。</p>					

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e			
3 出来形及び出来ばえ	電気設備工事 (改修) 機械設備工事 (改修)	品質が特に優れている	品質が優れている	品質が特に良好である	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である			
II 品質	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 5px;"></div> 機材 施工	[評価対象項目] <ul style="list-style-type: none"> ☐ 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 ☐ 機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 ☐ 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。 ☐ 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 ☐ 施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。 ☐ 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 ☐ システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。 ☐ システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。 ☐ 不可視部分となる品質が工事写真、施工記録等により確認できる。 ☐ 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 ☐ 運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。 ☐ 既設設備の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 ☐ 現地状況を勘案し施工方法等について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。 ☐ その他理由: 				<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>		<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>		☐ 工事監督員が文書で改善指示を行った。 <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px;"></div> 上記該当あれば・・・ d	☐ 契約約款第31条、第32条第2項に基づき破壊検査を行った。 <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px;"></div> 上記該当あれば・・・ e
				<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; display: inline-block;"></div> / <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; display: inline-block;"></div> = <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; display: inline-block;"></div> %							
		該当項目が 90%以上..... a1 該当項目が 80%以上90%未満..... a2 該当項目が 70%以上80%未満..... b1 該当項目が 60%以上70%未満..... b2 該当項目が 60%未満..... c	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合にはc評価とする。								

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e	
3 出来形及び出来ばえ	除却工事	品質が特に優れている	品質が優れている	品質が特に良好である	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である	
II 品質	☐	<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ☐ 除却建築物の事前調査を行い施工品質の確保に努めている。 ☐ 施工計画書に定められた内容について記録が整備されている。 ☐ 特定建築資材にかかる分別・再資源化の取組みが顕著である。 ☐ 近隣に対する除却工事の影響(騒音・振動・粉塵)の低減に努めている。 ☐ 独自の解体機材を使用して除却工事を実施するなど、施工ノウハウが優れている。 ☐ 除却工事の手順が、安全上の無理がなく合理的である。 ☐ 付帯工事(フェンス、コンクリート舗装、設備工事等)の品質確保が確認できる。 ☐ その他理由: 				<p>工事監督員が文書で改善指示を行った。 ☐</p> <p>上記該当あれば・・・ d</p>		<p>契約約款第31条、第32条第2項に基づき破壊検査を行った。 ☐</p> <p>上記該当あれば・・・ e</p>	
				<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %					
		該当項目が 90%以上…………… a1 該当項目が 80%以上90%未満…………… a2 該当項目が 70%以上80%未満…………… b1 該当項目が 60%以上70%未満…………… b2 該当項目が 60%未満…………… c	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>						

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	上記以外の工事又は合併工事	品質が特に優れている	品質が優れている	品質が特に良好である	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である
II 品質	☐	[評価対象項目] ☐ その他理由: ☐ その他理由: ☐ その他理由: ☐ その他理由: ☐ その他理由:				☐ 工事監督員が文書で改善指示を行った。 ☐	☐ 契約約款第31条、第32条第2項に基づき破壊検査を行った。 ☐	
							上記該当あれば・・・ d	上記該当あれば・・・ e
							<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %	
		該当項目が 90%以上…………… a1 該当項目が 80%以上90%未満…………… a2 該当項目が 70%以上80%未満…………… b1 該当項目が 60%以上70%未満…………… b2 該当項目が 60%未満…………… c	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>					

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入し、a~dに○をつける。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
			全体的な完成度が優れている	全体的な完成度が良好である	全体的な完成度が適切である	全体的な完成度が劣っている
3 出来形及び出来ばえ	III 出来ばえ ☐	建築工事(新築・改修)	☐ きめ細かな施工がなされ取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。 ☐ 既存部分や関連工事との調整がなされ全体に調和が良い仕上である。 ☐ 使い勝手や使用者の安全に対する配慮が適切である。 ☐ 仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。 ☐ 色調が均一であり色むら等がなく、全体的な美観が良好である。 ☐ 材料、製品の割付けや通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。 ☐ 保全に配慮した施工がなされている。	※ 該当 6 項目以上 該当 4 項目以上 該当 3 項目 該当 2 項目以下		a b c d
		電気設備工事(新築)	☐ きめ細かな施工がなされている。 ☐ 関連工事(工種)との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 ☐ 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 ☐ 環境負荷低減への対策や配慮が優れている。 ☐ 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 ☐ 清掃・整理が十分なされている。	※ 該当 5 項目以上 該当 4 項目以上 該当 3 項目 該当 2 項目以下		a b c d
		電気設備工事(改修)	☐ きめ細かな施工がなされている。 ☐ 関連工事(工種)との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 ☐ 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 ☐ 環境負荷低減への対策や配慮が優れている。 ☐ 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 ☐ 清掃・整理が十分なされている。 ☐ 既設部分と関連設備との調整が適切で全体に良い。	※ 該当 6 項目以上 該当 4 項目以上 該当 3 項目 該当 2 項目以下		a b c d
		機械設備工事(新築)	☐ きめ細かな施工がなされている。 ☐ 関連工事(工種)との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 ☐ 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 ☐ 環境負荷低減への対策や配慮が優れている。 ☐ 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 ☐ 清掃・整理が十分なされている。	※ 該当 5 項目以上 該当 4 項目以上 該当 3 項目 該当 2 項目以下		a b c d
		機械設備工事(改修)	☐ きめ細かな施工がなされている。 ☐ 関連工事(工種)との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 ☐ 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 ☐ 環境負荷低減への対策や配慮が優れている。 ☐ 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 ☐ 清掃・整理が十分なされている。 ☐ 既設部分と関連設備との調整が適切で全体に良い。	※ 該当 6 項目以上 該当 4 項目以上 該当 3 項目 該当 2 項目以下		a b c d

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、a～dに○をつける。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
			全体的な完成度が優れている	全体的な完成度が良好である	全体的な完成度が適切である	全体的な完成度が劣っている
3 出来形及び出来ばえ	III 出来ばえ <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; margin: 10px auto;"></div>	除却工事	☐ きめ細やかな施工がなされ納まりが良い。 ☐ 既存部分や関連部分との調整がなされ全体に調和がとれている。 ☐ 使用者の使いやすさや安全、維持管理に対する配慮が適切である。 ☐ 清掃・整理が十分になされている。 ☐ 仕上げが良く、全体的な美観に優れている。	※ 該当 5 項目以上 a 該当 4 項目以上 b 該当 3 項目 c 該当 2 項目以下 d		
		上記以外の工事又は合併工事	☐ 理由： ☐ 理由： ☐ 理由： ☐ 理由： ☐ 理由：	※ 該当 5 項目以上 a 該当 4 項目以上 b 該当 3 項目 c 該当 2 項目以下 d		